

# 連携三校による小中一貫教育の推進

～施設分離型小中一貫教育（上神明小学校・伊藤小学校・富士見台中学校）の取組～

## 学力向上の視点から

## 【課題の検証】

## 人間形成の視点から

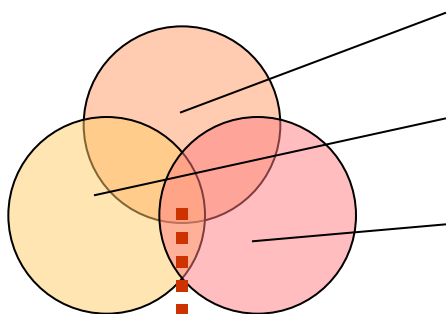
学力の向上と確かな定着を学習目標とし、国語、算数・数学において、70%以上の達成率を目指す

- 国語(学力調査結果より)
  - ・漢字の書き取りの力をつける
  - ・主述の関係をとらえる力をつける
  - ・段落相互の関係を考える力を伸ばす
- 算数・数学(学力調査結果より)
  - ・文章理解から演算決定していく力を伸ばす
  - ・具体的操作活動を取り入れた授業を増やす
  - ・根拠をもとに説明する力を育てる

自らの生き方を考え、高めようとする態度と社会性を育成する指導を推進する

- 生活指導目標の重点指導項目  
(平成21年度に実施した「問題行動調査」結果から、基本的な生活習慣や自尊感情が身に付いていない)
- 他人を思いやる態度、社会のマナーやルールを守る態度を育てる
  - 健康な体と粘り強い精神力を育てる
  - 正しい判断力と表現力を育てる

## 品川教育改革「プラン21」に基づく連携三校による小中一貫教育目標の設定



**富士見台中学校** 昭和29年開校・生徒数168名

**上神明小学校** 昭和15年開校・児童数139名

**伊藤小学校** 昭和11年開校・児童数396名

## 小中一貫教育目標

- 考える人を育てる (自分の考えをもち、獲得した知識やスキルを積極的に活用したり判断したりする)
- 思いやる人を育てる (友達のよさを認め、互いに集団として高めようとする)
- 実現する人を育てる (自分のめあてに対しねばり強く努力する)

## 発達段階に応じた(学年のまとめりごとの)指導目標

- 1～4年 学習の基礎基本や基本的な生活習慣を確実に身に付けさせる
- 5～7年 自ら進んで学習する意欲を育て、社会の一員である自覚をもたせる
- 8～9年 自分の将来について考え、進んで問題解決する力を育て、自主・自立の志をもたせる

## 小中一貫教育目標及び指導目標を達成するための基本方策

- ① 学習規律と生活規律の共有化(義務教育9年間で身に付けたい共通の授業規律の設定と共通理解・指導の徹底)
- ② 授業力・指導力の向上 (小中の教員における教材観、児童・生徒観の共有化を目指した連携授業、合同部活動の実施)
- ③ 研究組織の合理的な組織体制(三校をひとつの組織としてとらえた研究推進による小中教員の共通認識、共通実践)
- ④ 三校合同会議、合同研究会 (経営会議、研究推進委員会、研究会、生活指導主任会、小中連携授業、部活交流、行事参加)
- ⑤ 目標管理・検証の手だて (連携三校合同学習基準、生活アンケート、市民科アンケート、校区外部評価委員の評価)